

大和三田会 会報

No.2

2009年12月

Keio University



目次

- 1) 平成21年 大和三田会新年会
- 2) 第2回大和三田会総会
- 3) 我が塾生時代 (上田利久 / 古木通夫 / 藤井宏紀)
- 4) 自由投稿 「シチリア旅行」 吉村満
- 5) お知らせ



大和諭吉君

6/19 総会

制作：大和三田会 会報委員会

平成21年 大和三田会・新年会のご報告

大和三田会の新年会が、平成21年1月24日（土）、中央林間「欧風台所ラ・パレット」にて開催されました。

50名を超える会員をはじめ、会員のご家族、友人・ゲストの方々にも多数ご参加いただきました。大和三田会が平成20年9月23日（火）の創立後に初めて迎えた新年を華やかに盛り上げていただきました。



午後5時30分、井上勝彦副会長（昭和36年経済学部卒）から開会の辞があり、参加者全員で慶應義塾塾歌を斉唱して、大和三田会の第1回目の新年会が始まりました。



続いて、太田滋会長（昭和23年工学部卒）の挨拶の後、新入会員及びゲストの方々の紹介がありました。立食パーティー形式の和やかな雰囲気の中で懇親を深めることができました。

大和三田会が創立された平成20年は、慶應義塾創立150周年記念という節目の年でもありました。新年会においても、150周年記念グッズの抽選会をするなど、慶應義塾の節目の年にふさわしい企画で会場は大いに盛り上がりました。



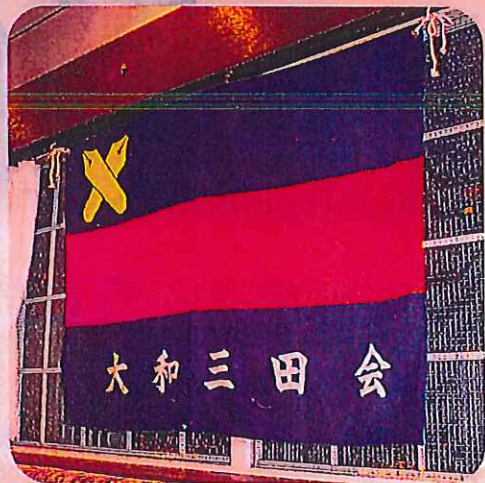
さらに、大江康弘さん（昭和45年経済学部卒）の指揮、石井一夫さん（昭和49年文学部卒）の伴奏により、参加者全員で「丘の上」及び「慶應賛歌」を合唱し、新年会も最高潮の盛り上がりには達しました。





最後に、小林米幸副会長（昭和49年医学部卒）より閉会の挨拶があり、新年会は大盛況のうちに閉会しました。

早いもので、この大和三田会会報がお手元に届くころには、平成22年の新年会をご案内する季節になっていることと思います。平成22年の新年会は、平成22年1月23日（土）午後6時、中央林間「欧風台所ラ・パレット」にて開催の予定です。平成22年の新年会も大和三田会を大いに盛り上げていただきたく、会員の皆様の参加をお待ちしています。



第二回大和三田会 総会のご報告



第2回大和三田会総会が平成21年6月13日（土）に「横浜うかい亭」で開催されました。最初に太田滋会長（昭和23年工学部卒）より開会の挨拶がありました。以下は、その内容です。



大和三田会会長 太田 滋

ただ今紹介戴きました会長の太田でございます。本日はなにかとお忙しいところを本大和三田会の第2回総会に、かくも大勢の塾員の方々のご参加を戴き有り難うございます。心から感謝致しております。

昨年の慶應義塾創立150周年記念の年に皆様の総意により設立発足致しました大和三田会ですが、お陰様で会員総数118名の立派な三田会となりました。

そこで形態は整いましたが、三田会は如何なることを皆様と致すべきか、逆に会員各位は大和三田会に何をして欲しいのかの意見により会の運営を致すべく昨年の第1回総会后、事業企画委員会から“何を致すべきかのアンケート”を送付しました。皆様の回答を集計し、一覧表を総会資料に添えてありますが、このアンケートにより、新年会、5月15日のゴルフコンペ、本総会の議事終了後の福田先生による健康講演会、アトラクションとして堀内士功様の声楽を加えました。これにより、多少ながら皆様のご要望に添えるべく、幹事の皆様が腐心したところでございます。

今後とも、大和三田会のより良い運営に忌憚のないご意見を賜りますよう、お願い致します。ご静聴有り難うございました。



第一部・総会の議事内容については、以下のとおりです。

(1) 役員の退任ならびに幹事サポーターの就任について



古木通夫幹事長（昭和44年経済学部卒）より、小林米幸副会長（昭和49年医学部卒）の退任ならびに幹事・サポーターの就任について説明がありました。

(2) 平成20年度事業報告

古木通夫幹事長より、3委員会（総務・事業・会報）で行うことを役員会で決定したことについて報告がありました。

総務委員長に清水麻帆さん（平成9年法学部卒）、事業委員長に井上勝彦副会長（昭和36年経済学部卒）、会報委員長に吉村満さん（昭和48年法学部卒）が就任しました。

総務委員会より慶弔費の決定、事業委員会より今年1月の新年会の実施ならびにアンケートの実施報告、会報委員会より昨年12月の会報発行についての報告がありました。

(3) 平成20年度会計報告



会計の石塚雅男さん（昭和40年経済学部卒）より会計報告がありました。

(4) 平成20年度監査報告



監査の鈴木博さん（昭和50年医学部卒）より監査報告がありました。

(5) 平成21年度事業計画

各委員会（総務委員会は古木幹事長が報告）より、以下のとおり事業計画の説明がありました。

- (A) 総務委員会より、(1)早稲田大学大和校友会との友好を深める (2)7月に湘南藤沢キャンパスで開催される七夕祭の小冊子に大和三田会創立の案内を掲載 (3)横浜開港150周年記念で開催される福沢諭吉展に大和三田会が特別協力

- (B) 事業委員会より、アンケート結果に基づき音楽・ゴルフ・講演の計画。既に音楽については総会終了後に開催される懇親会でプロの音楽家をゲストを招待。ゴルフは5月に実施し、秋にも実施予定。また、平成22年1月23日（土）に新年会を計画。



- (C) 会報委員会より、今年度も年1回の会報の発行。



- (6) 平成21年度予算案
会計の石塚雅男さんより予算案の説明がありました。

総会の全ての議事は、全会一致で承認されました。また、総会終了後に会場前のテラスにて参加者全員で記念撮影を行いました。





第二部として、大和三田会会員である福田悦子さん（昭和39年医学部卒）によるメタボリックについての講演会が実施されました。昨今、身の回りでよく聞く生活習慣病であり、皆他人事でない様子で聞き入っていました。大変貴重なお話をありがとうございました。



第三部として、懇親会が実施されました。早稲田大学大和校友会の方々もゲストとしてご参加下さいました。慶應・早稲田は永遠のライバルにして良き友という言葉が聞きますが、同会会長のご挨拶はまさにその言葉がぴったりと当てはまる感銘深いスピーチでした。

また各テーブルとも先輩・後輩のわけ隔てなく賑やかな声が響いていました。懇親会のサプライズゲストとして、地元つきみ野ご出身で、当大和三田会の石井一夫さんのご友人でもある、現在藤原歌劇団でご活躍中の歌手堀内士功様と、オペラ、声楽コンサート、合唱団、器楽アンサンブルのピアニストとしてのご活躍中の河崎恵様（お二人はご夫婦）によるコンサートが実施されました。「闘牛士の歌」、「オーソレミオ」の2曲を迫力あるバリトンで間近に聞くことができ、お酒の酔いとは異なる酔いに浸ることができました。



堀内様のプロならではの歌声は河崎様のピアノ伴奏と一体となって、うかい亭クリスタルホールの屋根が吹き飛ばすほど怒濤のように響きわたりました。会場内は大いに盛り上がり「ブラボー！」

「アンコール！」の聲が飛びかい感動の渦に包まれました。堀内様、河崎様、このたびは本当にありがとうございました。これからのご活躍を心からお祈り致します。尚、お二人のホームページは下記URLよりどうぞ。



<http://www.horiuchikawasaki.com/>





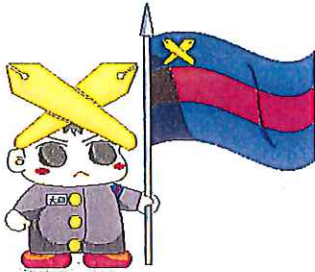
懇親会の締めとして、吉村満さん（昭和48年法学部卒）による指揮、石井一夫さん（昭和49年文学部卒）の伴奏により、「慶應賛歌」・「丘の上」・「若き血」・「慶應義塾塾歌」を参加者全員で合唱し、新年会同様に会は最高の盛り上がりを迎えました。

最後に井上勝彦副会長より閉会の挨拶があり、懇親会は大盛況のうちに終了しました。



樹てんかな この旗を

上田 利久 医学（専）部・昭和25年卒業



漸くこの大和村にも、三色旗を迎えることが出来て大きな喜びであります。そんな折り、一寸したコラムをとのお誘いを頂きましたが、馬齢を重ねるのみの私、戸惑いの中におりました。……奇しくも私は世界大戦が始まった年、昭和16年（1941年）4月に慶應商工部（旧制中学）に入学、昭和22年3月、4年卒……その頃の戦中～戦後の回想など少し眺め直してみたいと存じます。

入学後しばらくは ペンのボタンの制服、慶應帽、軍事色はやや深まりつつあったが、それでも放課後などは 村ちゃんこと英語の村田武雄先生 [後に慶應義塾大学で音楽史担当、音楽通史など著書多数、音楽評論家] のレコード鑑賞班などを通して、クラシック音楽のきき方、楽しみ方などのお話を伺ったこともありました。そして、まだ少しのどかさが残っていて、時にはラケット片手に日吉のmamsh谷へ通ったこともありました。

やがて軍靴の音も高まり、戦闘帽、教鞭服脚絆巻き、配属将校による厳しい教練また教練。四年生になると学徒動員、我々は芝浦埠頭の陸軍糧秣しょ勤務を命ぜられました。南の島に孤立している兵隊さん達への乾燥食の梱包とそのハシケ積み、当時の我々にとっては苛酷な労働でありました、見張り役の鬼の軍曹からの罵声、そしてピンタが飛びました。そんなある時、芝浦の直属上官陸軍中尉SM殿が耳もとで、そっとささやいた。…僕も塾員なんだよ、ガンバレよと言って下さった言葉、今も忘れません。

さて三田会会員の皆様の中にも、同じ思いの方々も少なくないと存じておりますが、三田会で歌う塾歌、私など老齢のものにとっては丁度いい余韻の中で歌うことの出来る優しくそして力強いピアノ伴奏、そしてまた勇気と誇りをそこはかたなく引き出してくれる指揮棒に誘われての塾歌、それが歌いたくて、それが楽しみで大和三田会に出席させて頂いている者の一人でもあります。

嬉しいときには、その喜びを2倍にして、悲しいときには

その悲しみをいやしてくれ塾歌！！

ところで、天にあふれる文明の…で始まった日露戦争当時に作られた古い塾歌は、時を超えて現在の塾歌に書き替えられたのが、昭和14年（1939年）と言われております。歌詞は塾の歴史と誇りとを、学問の深遠とそして塾の徽章の光輝とを、各節に歌い込めたもので、その作詞を手にした時、富田正文先生の詞を読んだ時、作曲家信時潔先生は人知れぬ感動を覚えた、そして曲はほとんど一気に書き上げた、そして後日、三田の大講堂（大ホール）にたって学生諸君の練習をきいて一安心した。……譜面で見ると塾歌は歌詞とお玉杓子の行列にみえるけれども、それを生かすのは歌者の心意気である。そしてさまざまな感激と追憶を込めてうたわれるうちに歌曲は年輪を重ね鮮苔を加えて同窓の心に生きるのであると記述されています。

（慶應商工部 七十年記念誌より引用）

- 慶應義塾 塾歌 富田正文 作詞 信時潔 作曲 (昭和15年 1940年)
- 第二次世界大戦 勃発 12/8 (昭和16年 1941年)
- 学徒出陣壮行大会 小雨降る神宮の森 10/21 (昭和18年 1943年)
- 世界大戦 終結 終戦記念日 8/15 (昭和20年 1945年)
- 歴代塾長 小泉信三先生 (昭和8年 1933年～昭和22年 1947年)
- 潮田江次先生 (昭和22年 1947年～昭和31年 1956年)
- 戦後復興の中 漸く元気を取り戻した応援歌 (昭和24年秋 以降～)

その大講堂（大ホール）……昭和20年5月直撃弾をうけ完全に焼失した。正面入口の頭上から我々を見守ってくれた一対のユニコン（一角獣）「天上天下 唯我独尊」今は中等部入口に修復され飾られている筈である。

そんな中、太平洋戦争の災禍を奇跡的に免れた三田山上（稲荷山）に現存する唯一の建物、三田演説館は明治8年5月、福沢先生が私費を投じられて建設、このシックイの白壁の演説館は現在東京都文化財に指定され、保護されている。

そして、このことは皆様方既に存じの如く、speech を演説したのは福沢先生ご本人であったと、聞き及んでおります。

嵐の中にはためきて、文化の護り高らかに、貫き樹てし誇りあり

150年の時を刻み、慶應SPIRIT

大和三田会 創立一周年 オメデトウ ゴザイマス

塾生時代

古木 通夫 経済学部・昭和44年卒業

塾生時代の思い出といえば、僕の場合は昭和44年経済学部1組との関わりが殆どを占める。

そもその始まりは、入学式後のオリエンテーションの経済学部1500人が20クラスに分かれ、各クラス、前からABCの名簿順に整列させられた。

先生から、各クラスで名前を呼ばれた者は返事するよう指示があり、A組から点呼が始まった。A～D組くらい迄は順調に返事があったが、E組からは、だんだん呼びあげる人数が増え始め、1組に至っては名簿14番目の古木迄きてしまった。なんで返事をしない奴がいるんだと思いつつ、古木と呼ばれたので返事をした。



20クラスの点呼が終わると、今返事をした者は列の前に出るとの指示。

そして、クラス委員の指名。このことが、僕の塾生時代の運命を決めたといつづく思い出す。

「クラス委員だから、レポートの提出期限を交渉してくれ！」なんてことは頻繁。しかし、「クラスでこんなことはできない？」という話がでた時、言い出しっぱに纏るようにさせてみたら、うまくいくようになり、それからは、いろいろなことをやってみた。



- ・三田祭に「我々の精神状況」というタイトルで経済学部1500人のアンケート調査分析を出展し、朝日新聞日曜版に取りあげられた。当時、クラス出展はあまりなかった。
- ・クラスで、野球チーム「リンベイズ」を結成。軽井沢合宿の時、佐藤倫平先生より差し入れ。
- ・クラス名簿作成。
- ・飲み会は何度か（何度も？）

こんなクラスだったからなので、卒業後も毎年6月の第2金曜日に三笠会館で20数名が集まっている。4年前、大和三田会のサポーターの衛藤顕彦君が永久幹事を名乗り出てくれたので、未長く続くクラスを楽しんでいこうと思う。

三田の思い出

藤井 宏紀 経済学部・平成13年卒業

経済学部では日吉から三田に移るとすぐに入ゼミ試験があり、多くの学生がそれぞれのゼミに入ることになり、それとともに活動の中心がゼミを基本に動くことになっていく。

その中で私は飯野ゼミを選んだ。私の代で21期、慶應経済でもかなり歴史のあるゼミだ（残念ながら、先生は一昨年慶應を引退し、現在は他大学で教鞭をとっている）。同期は男性18、女性2の計20名、経済学部では残念ながら一般的な比率である。

先生の専門は財政学。しかし、ゼミではその範疇に捉われることなく、学生の自主性を重んじ、いくつかのグループに分かれて自分たちが設定したテーマに基づき、論文の作成などを行った。3年生だけで行うサブゼミ、グループごとに行うパートゼミ、そしてその状況等を発表する本ゼミ（先生・4年生が出席）と先生の授業で、それだけで、週3～4回、三田に通うことになる。

論文は、様々な団体が主催している懸賞論文に応募することを目的に作成する。提出期限が近づくと、ほぼ毎日、図書館のグループ学習室（グル学）を拠点に、メンバーが各々、図書館を動き回り、時には日吉やSFCまで足を運び資料を集め、集まるとそれをもとにグループで討議、時には閉館時間内に議論が尽くせず、ファミレスなどに場所を移して深夜まで根詰めて行うこともあった。これだけ一緒に過ごし、激論を交わしてきただけあって、いまだに横のつながりが強く一生の友に巡り合えたことは、三田での成果だと感じている。

今でも時々図書館を訪れ、その当時の思いに浸ることがある。皆さんも一度三田を訪れ、このように、学生時代の思い出に耽ってみてはいかがだろうか。

ちなみに、懸賞論文の結果であるが、パートゼミの一つが入賞し（注：私の属していたパートではない）、その軍資金をもとに、みんなで屋形船に乗り、お台場の夜景を見ながら酒を交わすという学生にしてはリッチな打ち上げをさせて頂いたのであった。



自由投稿

自由投稿のコーナーでは、皆様からの投稿もお待ちしております。

シチリア旅行

吉村 満 法（政）学部・昭和48年卒業

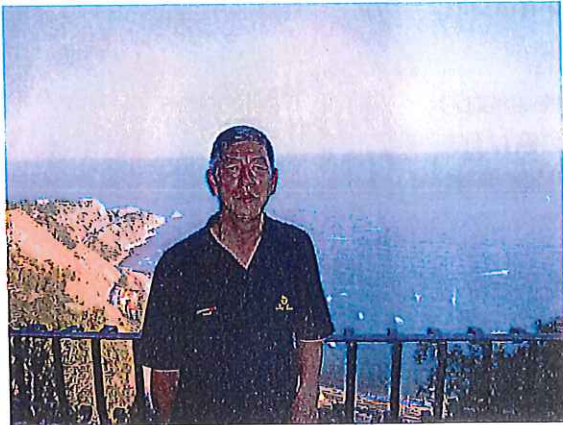
年1回（出来れば2回）は海外旅行をしたいと思っている。自宅と職場が同じなため、休日といってもなかなか休養にならず、完全に家を離れ、休暇を楽しみたいからである。今年の春は10年ぶりにスペインへ行き、マドリッド近郊の町々を廻った。夏は、当初、涼しいイタリアの湖水地方に行く予定にしていたが、日程の関係から、同じイタリアでも南端のシチリア旅行に変更した。

シチリアで最大の町パレルモを起点に東方へ向かう9日間の旅で、途中、アグリジェント、カルタジローネ、シラクーサを経て、最後は保養地タオルミナに滞在する。

大和三田会 会報 No.2



シチリア島はイタリアの南、長靴の爪先に乗せられているように位置し、面積は九州の約70%の広さである。古代ギリシャ、ローマ、ビザンチン、アラブ、ノルマン、スペイン等に支配され、イタリア統一により現在は一州となっている。



シチリアは数多くの映画の舞台となっている。「ゴッドファーザー」をはじめ、古くはビスコンティの「山猫」、「ブラザーサン・シスタームーン」、「ニューシネマパラダイス」、比較的新しいところではモニカ・ベルッチ主演の「マレーナ」等がある。私はアル・パチーノのファンで「ゴッドファーザーIII」の撮影が行われたパレルモのマッシモ劇場の正面階段に立ちたかったが、劇場が休館で見学できず、外から眺めるだけだったのが残念であった。「ブラザーサン・シスタームーン」の一場面となっているパレルモ近郊の中腹に位置するモザイク装飾の美しいモンレアーレ教会も訪れた。世界的にも有名な保養地のタオルミナは、眼下にイオニア海を臨み、背後はエトナ山が控えている。この町で、ジャック・マイヨール

をモデルとした「グラン・ブルー」（主演ジャン・レノ）の撮影が行われている。水中シーンを撮影した海岸イソラ・ベッラ迄は行けなかったが、ロケ地となった修道院を改装したホテルに滞在でき、感動した。

シチリア島は、紀元前から様々な勢力の支配下に置かれてきた歴史をもつが、地中海の中央にあって海上交通の要衝に位置する地理的条件とともに、豊富な食物資源を有することも大きな魅力となったと思われる。シチリアの食べ物としては、オレンジ、レモン、イチジク等の果実、アーモンド、ピスタチオ等の木の实、天然塩が有名であり、もちろん海に囲まれていることから魚介類も豊富である。レモン、オレンジ等はアラブ人が持ち込んでシチリアで栽培が始まったといわれており、ジェラート（アイスクリーム）もシチリアが発祥である。今年はオレンジが不作とのことであったが、日中の暑いさなかに喉を潤した香り高いフレッシュオレンジジュース、スイカやピスタチオのグラニテ（シャーベットと氷水の間のようなもの）の味は格別で、今でも忘れられない。名産のアーモンドがふんだんに使われたシチリアの菓子もとても美味である。豊富な食材が並ぶパレルモの市場では、NHKの「世界ふれあい街あるき」の撮影に遭遇した。撮影隊の後ろを着いて回ったので、テレビに映っているかもしれない。

陶器で有名な小さな町カルタジローネの大階段のイルミネーションは今回の旅行の目的の一つであった。一段ごとに並べられたランプに一齐に灯りがともされ、夏の夜空に現れた聖母子の姿は十分幻想的であった。翌日、シラクーサでも、偶然、聖母被昇天祭を見ることができた。マリア像の御輿を担ぎ、街中を練り歩く熱心なカトリック信者の姿にマリア信仰の深さを感じた。「ゴッドファーザーII」でも、ニューヨークでマリア像の行進が行われた場面があった。

最後の滞在地のタオルミナの広場で、以前から一回はやってみたかった似顔絵を街の画家に描いてもらった。画家は日本人の平板な顔を描きにくいらしく、40分もキャンバスと格闘していた。夕闇の中、ライトに照らされた私の前には人だかりができ、キャンバスと本人とを見比べている。恥ずかしさでやや顔が紅潮したものの、微動だにすることもできず、少し後悔した。画家がにこっと微笑み、似顔絵が完成した。見ると、アラ還の私がかかなり少年ばく描かれている。若く描かれているんだから、まあいいか。画家にOKのサインを送った。貴重な体験であった。



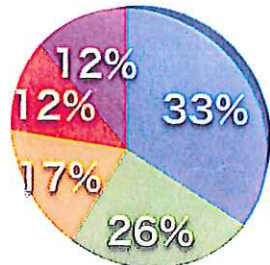
シチリアの気温は30°～34°とかなり暑かったが、天候にも恵まれ、シチリアを満喫できた旅であった。ピバ・シチリアである。ホテルに体重計がなかったのも幸いであったかもしれない。

今後の活動に関するアンケート結果

昨年に会報とともに会員に送付した大和三田会に関するアンケートの集計結果は、下記の通りです。

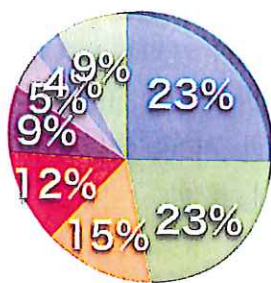
(7) 会員の方々が家族の方々も含めて参加を希望される行事

(A) 全体



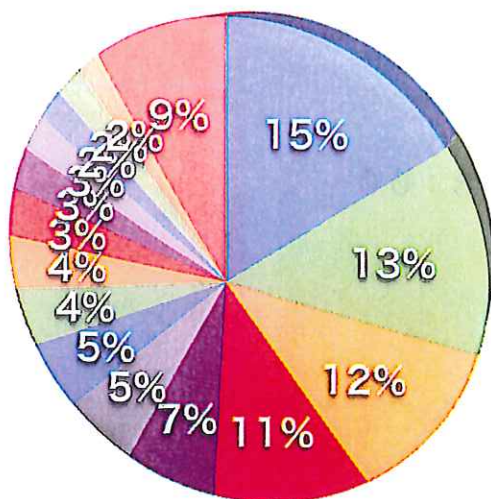
講演会・勉強会	54
新年会	42
アウトドア・スポーツイベント	28
クリスマスパーティ	20
お花見	20

(A) 講演会・勉強会 (■) の内訳



市政	19
健康	19
暮らしと経済	12
暮らしと法律	10
ファイナンシャル	7
スポーツ	4
IT	3
その他	7

(8) 会員の方々の趣味や興味・関心のある分野



旅行	36
音楽	30
ゴルフ	28
グルメ	27
テニス	16
ハイキング	13
麻雀	12
その他	10
ガーデニング	9
水泳	8
野球	7
PC 関連	6
スキー	5
釣り	5
囲碁	4
少数派	21

アンケート結果を踏まえて、今年度は、総会では福田先生から健康に関する講演と音楽の一環としてオペラがあり、その他ではゴルフ懇親会を行いました。引き続き、皆様のご意見を反映していきたいと思っておりますので、何なりとご指摘下さい。

お知らせ

第一回ゴルフコンペの結果報告

第一回 大和三田会親睦ゴルフ大会

日時：21年5月15日（金）

場所：厚木米軍基地内 ゴルフ場

競技方式：新ペリア方式／18ホール

大会参加人数：太田会長／吉田先輩 含めて 総勢 13名

結果報告： 一位 鈴木 博 さん ネット 72.2

二位 竹下 利夫 さん ネット 73.2

三位 富澤 篤紘 さん ネット 74.0

当日は天候に恵まれ、第一回のゴルフコンペとしては大成功でした。幹事の勝手際で入門の際にトラブルが発生しましたが、参加者全員のご協力を得て、無事にコンペを実行できたこと、感謝しております。コンペ終了後、基地内の将校倶楽部で懇親会を開き、次回幹事を優勝者・鈴木様、及び土橋様に決定しました。第二回は時期を2009年10月／11月に設定して計画を立案することになりました。現在、ゴルフ同好会は28名ですが、次回はより多くの方に参加していただきたく皆様をお願いします。

今後の活動

(1) 第二回 大和三田会親睦ゴルフ大会

日時：11月

場所：小田急藤沢 ゴルフクラブ

結果：（記載予定）

(2) 2010年 新年会

日時：2010年1月23日（土） 18:00～

場所：ラ・パレット

(3) お花見の会

日時：2010年3月（予定）

場所：富澤 篤紘 邸（予定）

(4) 第3回 大和三田会総会

日時：2010年6月19日（土）（予定）

場所：横浜うかい亭

